



第244回ギャラリー展は「家にあるかも・・・うつわ展」を開催します。

冬季オリンピックが開催されました。

前半戦は期待していた金メダルが取れそうでなかなか取れず「やはり」とあきらめムードになって中継を見ていました。

ようやく後半に来て男子フィギュアでは、ケガから復活の羽生選手が金、宇野選手が銀とダブル受賞、日本を元気づけてくれました。

残りの種目選手の活躍を見守りたいと思います。

有田陶器は明治時代になり、焼き物存続の危機がやってきます。

江戸時代の幕藩体制が崩壊し、藩の御用窯として養護され、育ってきた焼き物が突然、屋台骨の藩もなくなり支援も途絶えてしまいました。

そこで、立ち上がったのが陶磁器を扱って来た商社などが中心になり会社制度を立ち上げ作品を作り続けたのです。

その時代の肥蝶山、蔵春亭、源六、深川、香蘭などの名を入れたものが生産されて今日に至っています。

明治、大正、昭和と続いていますので先日まで使用していたという器が自宅に結構残っていると思われます。

もしかしたらと思われた方は自宅の器の裏側を見てください。100年以上前の器が発見できるかもしれません。

お楽しみに・・・